

# エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について (平成22年 10月調査分)

(財)宮崎県環境整備公社では、エコクリーンプラザみやざきの安心・安全な施設運営が行われている事を確認するために、公害防止協定書に基づき、モニタリング調査(排出源等モニタリング調査、環境モニタリング調査)を定期的に行っております。平成22年10月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成22年11月22日  
宮崎県環境整備公社

## ○排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	連続測定	同左	同左		
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者	同左	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m <sup>3</sup> N以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	58	45	44	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	5	8	7	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.00010	0.000053	0.00024	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下

### 調査結果の評価

各調査項目ともこれまでと大きな変化は無く、全ての項目で評価基準を下まわりました。  
ダイオキシン類の調査は、(株)静環検査センターが試料採取・分析を行いました。  
試料採取日 1号炉 8月30日、2号炉 8月31日、3号炉 9月29日



焼却溶融施設

## ○排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成22年10月22日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	5.8以上 8.6以下	
02. 生物化学的酸素要求量	0.7 mg/L	160(日間平均120)mg/L以下	
03. 浮遊物質量(SS)	6 mg/L	200(日間平均150)mg/L以下	
04. 大腸菌群数	30未満 個/cm <sup>3</sup>	日間平均 3,000 個/cm <sup>3</sup> 以下	
05. 化学的酸素要求量	4.0 mg/L	(参考値 mg/L)	
06. 全窒素	0.58 mg/L	(参考値 mg/L)	
07. 電気伝導率(EC)	33 mS/m	(参考値 mS/m)	
08. 透視度	100以上 cm	(参考値 cm)	
09. 溶存酸素	6.9 mg/L	(参考値 mg/L)	
10. 塩化物イオン	9.2 mg/L	(参考値 mg/L)	
11~30. 鉱物油等(※3)	評価基準値内 cm	項目により個別に設定	
31~47. PCB等(※4)	測定月でない mg/L	項目により個別に設定	
48. ダイオキシン類	0.0031 pg-TEQ/L	10 pg-TEQ/L以下	



防災調整池排水(敷地境界)

### 調査結果の評価

今回、30項目の調査を実施しました。この結果、全ての項目で評価基準を下まわりました。  
ダイオキシン類の調査は8月27日に(株)静環検査センターが試料を採取し、これを分析した結果、評価基準を下まわりました。

## ○環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成22年10月22日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	7.8	7.9	6.5以上 8.5以下
02. 生物化学的酸素要求量	0.5未満 mg/L	0.5	0.7	3 mg/L以下 (だら池は2mg/L)
03. 浮遊物質量(SS)	2 mg/L	4	4	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	7.4 mg/L	8.4	9.2	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg/L)
05. 大腸菌群数	7000 MPN/100ml	7800	33000	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)
06. 化学的酸素要求量	3.7 mg/L	4.5	5.5	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	0.59 mg/L	1.3	0.72	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導率(EC)	29 mS/m	22	29	(参考値 mS/m)
09. 透視度	100以上 cm	100以上	100以上	(参考値 cm)
10. 塩化物イオン	7.9 mg/L	9.2	9.0	(参考値 mg/L)
11~19. カドミウム等(※1)	評価基準値内 mg/L	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
20~39. PCB等(※2)	測定月でない mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
40. ダイオキシン類	測定月でない pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

### 調査結果の評価

今回は、19項目の調査を実施しました。この結果、各調査地点で大腸菌群数が、評価基準値を上まわりました。  
大腸菌群数については、水温が低くなる時期に入り、大腸菌の増殖力が低下しており、各調査地点ともに前回(9月調査)よりも低い値でした。



上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水

## ○排出源等モニタリング - 浸出水調整池地下水

調査地点	浸出水調整池地下水		評価基準
試料採取日	平成22年10月22日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.9	(参考値)	
02. 電気伝導率(EC)	110 mS/m	(参考値 mS/m)	
03. 塩化物イオン	5.3 mg/L	(参考値 mg/L)	
04. カドミウム	0.01 mg/L	0.01 mg/L	
05. 全シアン	検出されないこと	0.01 mg/L	
06. 鉛	0.01 mg/L	0.01 mg/L	
07. 六価クロム	0.05 mg/L	0.05 mg/L	
08. 砒素	0.01 mg/L	0.01 mg/L	
09. 総水銀	0.0005 mg/L	0.0005 mg/L	
10. アルキル水銀	検出されないこと	0.01 mg/L	
11. 透視度	(参考値 cm)	(参考値 cm)	
12~31. PCB等(※2)	測定月でない mg/L	項目により個別に設定	
32. ダイオキシン類	0.00013 pg-TEQ/L	1 pg-TEQ/L以下	



浸出水調整池地下水

### 調査結果の評価

今回は、3項目の調査を実施しました。この結果、水質の異常を示す結果は出ていませんでした。  
ダイオキシン類の調査は8月27日に(株)静環検査センターが試料を採取し、これを分析した結果、評価基準を下まわりました。

※1: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目  
※2: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など20項目  
※3: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目  
※4: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど17項目

### (特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いてあります。